

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 14, No. 2

神奈川県立生命の星・地球博物館

Jun., 2008



悠久なる時間の発見 ～ハットンの不整合～

2002年9月2日
スコットランド、シッカーポイント
平田大二 撮影

ひらただいじ
平田大二 (学芸員)

写真は、「ハットンの不整合^{ふせいごう}」と呼ばれている、地質学の分野では世界的に有名な露頭です。英国スコットランドの中心地エディンバラから東へ約65 km、シッカーポイントと呼ばれる小さな岬の先端に現れています。

不整合とは、地層の重なりには大きな時間の^{かんげき}間隙がある地質現象をいいます。この露頭では、傾きが垂直になっている灰色の地層に対して、その上にゆるい傾きの赤色の地層が重なって

ます。このようになるためには、人間にとっては計り知れない、途方もなく長い時間が必要です。そのことを世界ではじめて唱えたのが、この露頭を1788年に発見した、近代地質学の父と呼ばれるジェームス・ハットン(1726～1797)でした。ハットンは、地球の歴史が計り知れないほど時間がかかっていることに気がつきました。この露頭は、地質学を研究するものにとっての聖地といえます(p.12～13参照)。